

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



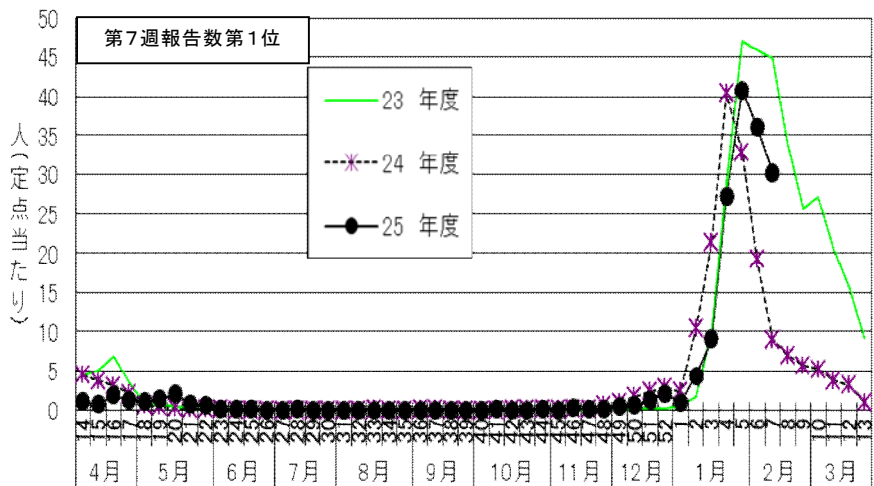
KAWASAKI CITY



平成26年2月10日(月)～平成26年2月16日(日)〔平成26年第7週〕の感染症発生状況

第7週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)水痘 でした。
 インフルエンザは定点当たり30.20人と前週(36.11)より患者報告数は減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎は定点当たり6.61人と前週(9.18)より患者報告数は減少し、例年より低いレベルで推移しています。
 水痘は定点当たり1.24人と前週(1.06)より患者報告数はやや増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

インフルエンザ発生状況(3年間)

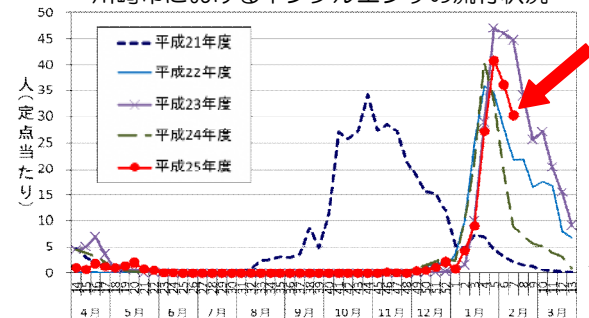


インフルエンザ減少傾向でも、注意が必要！

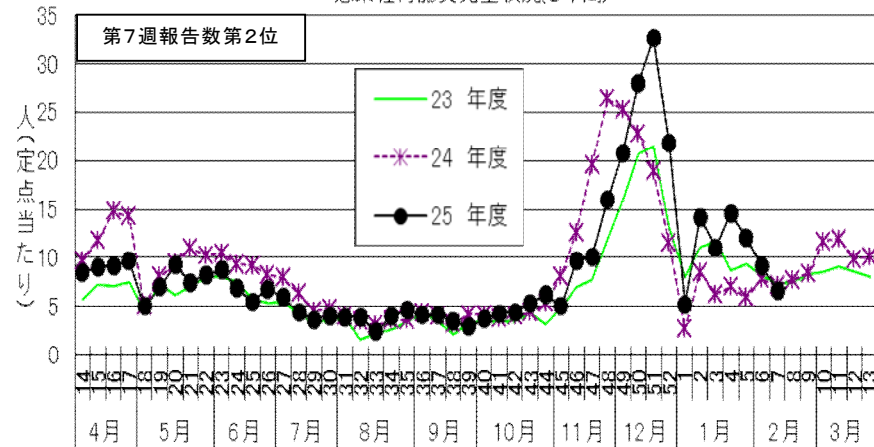
川崎市におけるインフルエンザの患者報告数は、第5週の定点当たり40.85人をピークに、その後減少傾向にあります。流行発生警報基準値(定点当たり30人)を超え、依然として高いレベルで推移していますので、引き続き注意が必要です。

日頃から、こまめな手洗いや咳エチケット(マスクの着用)を徹底し、インフルエンザを予防しましょう。

川崎市におけるインフルエンザの流行状況



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



鳥インフルエンザ(H7N9)にも注意！

WHO(世界保健機関)によると、中国等での鳥インフルエンザ(H7N9)の患者数が、年明け以降、急増しています。

そのため、流行地に渡航される方は、今後の情報に注意するとともに、鳥に直接接触したり、病気の鳥や死んだ鳥に近寄ったりしないようにしましょう。



中国、香港、台湾における鳥インフルエンザ(H7N9)患者数(WHOから引用)

